

●ロサンゼルス国際空港で機体に電源  
を投入する「ITW GSE 7400 eGPU」

## 環境にやさしいバッテリー搭載の 新型クリーン GPU 販売開始

2月1日、多摩川エアロシステムズ社（以下 TAS、<http://www.tamagawa-as.jp>）発表。航空機装備品の修理に加えて地上支援器材の販売・アフターサポートを手掛ける TAS は、ITW GSE グループ社が開発した世界初のバッテリー式航空機用電源装置「ITW GSE 7400 eGPU」の販売を日本国内で独占的に開始することを発表した。

### ● ITW GSE グループ社とこれまでのブランド

ITW GSE グループ社は、世界的な地上支援器材のサプライヤーで累計 80,000 台納入、日本では TAS を通じて HOBART、AXA ブランドで電源装置（GPU）を販売していたが、2018 年より ITW GSE ブランドに統一、7400 eGPU も ITW GSE ブランドでの扱いとなる。

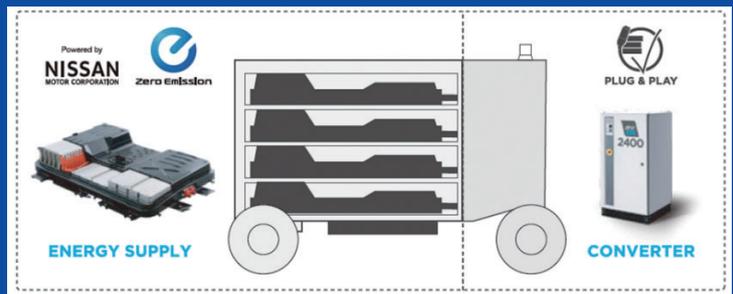
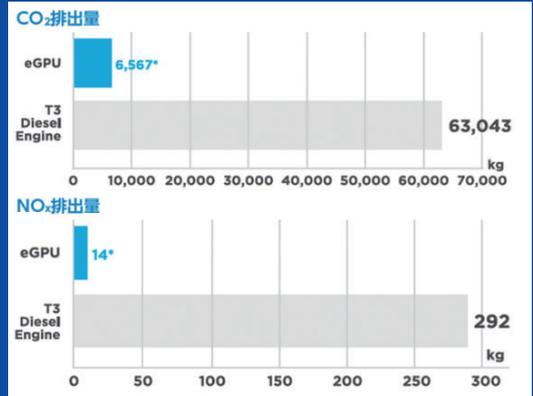
### ●バッテリー式 GPU 「ITW GSE 7400 eGPU」の特徴

従来のディーゼル式駆動の GPU はエンジンにより発電供給するため CO<sub>2</sub> の排出量が多だけでなく、騒音も発生する。また大量の NO<sub>x</sub> を排出し、作業員への健康への影響が懸念される。ITW GSE 7400 eGPU は既に世界中の空港で実績があり技術的に確立された周波数変換装置（ITW GSE 2400）の技術と第 4 世代日産リーフのバッテリーパックを融合させたバッテリー駆動の GPU であり、排気ガスがゼロであり、クリーンな環境を維持する。また ITW GSE 7400 eGPU は消耗する機械部品が存在しないため、メンテナンス費用が極端に少なく済む。さらに燃料代と比較した電気料金も安く（ゲートタイム 40 分間時、B737-800 クラスの場合、1 回の充電で最高 9.6 回の使用が可能）ライフサイクルコストが非常に低く、経費を大幅に節約することが可能である。



### ● ITW GSE 7400 eGPU（青色※）とディーゼル式 GPU（灰色）との各排出量比較図

（※比較図に示される eGPU の排出量は、平均的な発電所の排出量データから算出された値）



### ● ITW GSE 7400 eGPU の内部（バッテリーパック 4 台と周波数変換装置）

### ● ITW GSE 7400 eGPU の運用状況と国内販売

ITW GSE 7400 eGPU は 2017 年にアムステルダム空港での実証試験の成功後、2018 年中旬より量産を開始、スキポールグループの各空港で運用を行っている。運用面での高評価を受け、ITW GSE グループ社は世界に向けて拡販体制に入っており、既にアラブ首長国連邦、豪州や米国まで実績を広げた。日本向けには TAS を通じて、環境に配慮するエアラインや空港への納入が期待される。